





徳島県阿南市と姉妹都市協定を締結しました

5月29日、本市と徳島県阿南市は姉妹都市協定を締結しました。調印式では、荒木市長と岩佐義弘阿南市長が協定書に署名しました。両市は令和元年から交流を始め、パートナーシティ協定を締結するなど交流を深めてきました。姉妹都市協定は、人権啓発や災害時の相互支援などを軸に、両市の更なる発展と地域の活性化に寄与することを目的としています。

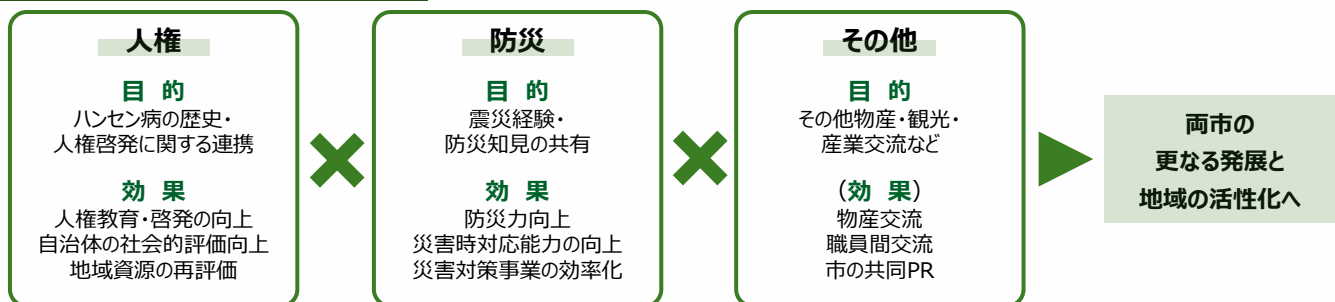
- ①合志市役所で行なわれた調印式
②調印式に出席した本市と市議会、阿南市、阿南市議会関係者



◀市ホームページ

締結の目的・効果

3つの項目で相互に連携・協力



合志市制施行20周年記念式典

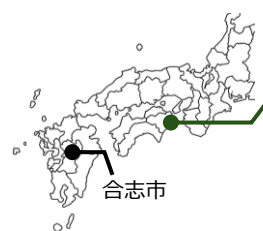
5月30日の合志市制施行20周年記念式典に阿南市の岩佐市長、阿南市議会の幸坂孝則議長が来賓として出席。岩佐市長は祝辞で姉妹都市協定について出席者に紹介しました。



徳島県阿南市はこんなまちです

四国の最東端に位置する阿南市。那賀川や紀伊水道の恵みを活かした農林水産業、臨海部に立地する製紙や火力発電、LED、半導体レーザーなどの製造業によって雇用を生み出し、『豊かな自然と調和した産業都市』として成長しています。

野球やSUPなどによる特色あるまちづくりに力を入れていて、全国の自治体で初めて名前に“野球”が入った『野球のまち推進課』を設置したり、SUPをきっかけに地域の関係人口を増やし、地域ブランディングと地域経済の好循環を繋げる『阿南SUPタウンプロジェクト』を実施したりしています。



徳島県阿南市



▲阿南市ホームページ

面積	279.22km ²
人口	66,376人
世帯数	31,353世帯

※人口、世帯数は令和8年4月30日現在



人と地域が輝く未来へ

合志市制施行20周年記念式典



▲市ホームページ

5月30日、市総合センター「ヴィーブル」文化会館で、『合志市制施行20周年記念式典』を開催しました。式典には、自治体関係者や本市の発展に貢献した団体・個人など約500人が出席し、合志吹奏楽団『響』の演奏で華やかに幕を開けました。

荒木市長は、「平成18年2月27日の誕生以来、熊本地震や新型コロナウイルス感染症など幾多の困難がありましたが、市民の深い郷土愛と助け合いの絆で今日まで歩みを進めてきました。20年の歩みは先人への感謝の歴史であり、市民と築いた挑戦の歴史でもあります。これからは次の世代へ、より良い本市を引き継ぐ新たな挑戦の始まりです」と式辞を述べました。また、青木照美市議会議長は、「二十歳という節目に、誰もが住み続けたいと思えるまちをともに創りましょう」と挨拶しました。



『合志市制施行20周年記念表彰』『ボランティア表彰』



教育文化、健康福祉などの各分野で本市の発展に貢献した皆さん、ボランティア活動を通じて日々の市民の暮らしに寄り添ってきた皆さん、計41団体・102人を表彰しました。誠にありがとうございます。

各部門の代表の皆さん



地方自治部門（19人）
すずかけ台自治会長
まつがきあすひる
松崎和寛さん



教育文化部門（43人）
映画監督
あきやま 中山節夫さん



健康福祉部門（12人）
市民生委員・児童委員
あきやま 長野博巳さん



環境保全部門（9人）
市環境美化推進員
たけふり 高森節臣さん



産業経済部門（3人）
吉弘鋼材(株)取締役会長
あきやま 吉弘哲郎さん



消防防災部門（3人）
元市消防団長
あきやま 安田秀一さん



功労団体（38団体）
県立ひのくに高等支援学校
生徒会長 小柳雄紳さん



ボランティア表彰
（3団体・13人）
くさやま 工藤保彦さん

20年の歩みを振り返るパネルを展示中

式典当日、「ヴィーブル」のロビーには誕生から20年の歩みを振り返るパネルを展示しました。式典終了後は、市役所と防災センター棟を繋ぐ2階廊下に展示しています。ぜひご覧ください。





会場は大盛り上がり こどもも大人も楽しむイベント

5月17日、市総合センター「ヴィーブル」で、0歳から大人まで楽しめる音楽会と体験型のイベントを開催しました。『春のこどもまんなか月間』にあわせて地域全体で子育て世帯を支える気運を醸成することが目的です。

こどもたちは、音楽会では合志吹奏楽団^{ひびき}の協力でステージと一緒に演奏するなどしたほか、体験型イベントではサイエンスショーなどを楽しんでいました。



▲詳しくはこちら



青空の下、こどもたちが躍動 市内の小学校で運動会

5月23日、合志市内の各小学校では運動会が行なわれました。

当日は朝から好天に恵まれ、汗ばむ陽気となりました。新学期がスタートして2か月弱。合志南小学校では、大勢の保護者や地域の皆さんが見守る中、学校での生活に少しずつ慣れてきた1年生をはじめ、こどもたちが元気良く運動場を駆け回っていました。なお、市内の各中学校では、5月17日に体育大会が行なわれました。



夏休みを利用しボランティア留学へ 文房具寄付を呼びかけ

5月26日、合志市の高校2年生・緒方愛菜^{おがためい}さんが、母校の西合志南中学校で後輩たちに文房具の寄付を呼びかけました。

東南アジアの貧困に関心を持ち、夏休みを使ってフィリピンとカンボジアに短期留学して十分な学習を受けられない現地のこどもたちに文房具を届けることを計画した緒方さん。「将来は国連職員になりたい」と話しています。



▲緒方さんの
Instagram



雨風に負けず、元気に登下校を 小学1年生全員に傘を寄贈

6月2日、熊本県運転代行事業者協会から本市の小学1年生全員に、晴雨兼用遮光UV傘 約790本が贈られました。

黄色の傘は、登下校時に目立つよう、こどもたちの交通安全を願ったものです。市内の小学校8校を代表して合志小学校で行なわれた寄贈式では、児童の代表3人が傘を受け取り、中島教育長から同協会の村井博敏理事長に感謝状を贈りました。



豊かな自然を次世代に、まちを美しく 美しいまちづくり一斉清掃の日

6月6日、市と市商工会は合同で、『合志市美しいまちづくり一斉清掃の日』に伴う環境美化清掃活動を実施しました。

この活動は、本市の豊かな自然を次の世代に繋ぐ目的で行なったもので、約370人が参加しました。朝から厳しい暑さの中、参加者は、『ゆめモール合志』周辺の道路などごみを拾いました。回収したごみは軽トラック2台分となる量でした。



酪農も盛んな合志市 『父の日』前に牛乳の贈り物

6月17日、『父の日（6月21日）』を前に、熊本酪農業協同組合女性部から合志市役所に牛乳がプレゼントされました。これは、「父の日に牛乳（ちち）を贈ろう」と消費拡大を目指す取り組みの一環です。

全国的に資材高騰などで酪農業を取り巻く状況は厳しいものがありますが、同組合女性部では、「これからも消費者の皆さんに、丹精込めて生産した美味しい牛乳をお届けしたい」と話しています。

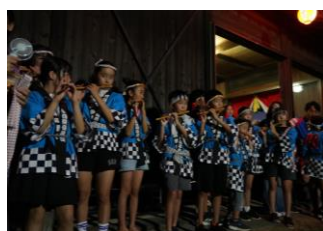


響き渡った太鼓と笛 心も踊り 空は笑った

竹迫観音祭

7月11日、県内で最も早い夏祭りと言われる『竹迫観音祭』が開催されました。

「お祭りの日に晴れるのは久しぶりだね」という声が見物客から聞こえてきた竹迫のまち。青空が広がり、厳しい暑さの中、上町、下町、横町からドランジャーと呼ばれる台車が今年も観音堂に無事に奉納され、五穀豊穡や産業振興、交通安全を願いました。



【おこわり】

KOSHI NEWS令和8年夏号は、7月28日に発生した『令和8年熊本地震』の影響で制作と発行が遅れました。各記事につきましては地震発生前（5月～7月中旬）の合志市の動き、行事、話題などを予定通り掲載しています。このたびの地震に対して、本市に多くのご支援をいただいていることを御礼申し上げます。引き続き、本市へのご支援をよろしくお願い申し上げます。



合志市
ホームページ



合志市公式X
(旧Twitter)

発行 熊本県合志市企画課